

## 子どもの様子を気にかけて

令和7年度の修了式を迎えました。よい思い出、苦しかった思い出、様々な思い出の積み重ねの上に、強く賢くなった1年間の成長があるものと思います。「うちの子は成長が感じられないなあ」「通知表がよくないぞ」等、親としてはいろいろ思うところがある時期でもあるかもしれませんが、子どもたちが次の学年に向けて前向きになれるような言葉をかけていただければ幸いです。結果だけ見るのではなく、途中経過のがんばりを褒めたり、成果につながった要因や、課題の原因を一緒に考えたりすることも大切だと思います。

春休みはゆっくりリラックスできたらよいのですが、学年が上がることに不安をもつ子や、クラス替えがある学年では期待と不安で落ち着かない子もいるでしょう。別れや出会いもあって心が穏やかでない春の時期、子どもの様子を穏やかに見守っていただきたいと思っています。



### ◇子どもにいつもと違う様子はないでしょうか？

- からだの調子：食欲がない、体調が悪い（特に頭痛や腹痛など）
- 表情や態度：表情がさえない、言葉数が少ない、おどおどしている、言葉遣いが荒い、人や物にあたる
- 持ち物の様子：お小遣いが早くなる、与えていない物を持っている、スマホなどに敏感に反応する・逆に全く見なくなった、家のお金がなくなっている、服に不自然な汚れ、持ち物がよくなる
- 就寝の様子：寝付きが悪そう、夜中に何度も目を覚ます、うなされている、いつもはしない歯ぎしりをするようになった、就寝時刻が遅くなる

以上のようなことがあったら、子どもを問い詰めずに「あなたを大切に思っているよ」というメッセージが伝わるように話を聞いてください。

### ◇子どもが相談をしてきたら…

困ったときに人に相談することは勇気があることです。その機会を逃さないように、安心して話せる場を作りましょう。

- 子どもの思いを大切に：保護者が問題を急いで解決しようとするのではなく、子ども自身が解決できるよう、どのように解決したいのかを聞き、その思いを尊重してあげてください。
- 落ち着いてあせらずに：子どもが安心できるように話を聞いてください。子どもの気持ちには「つらかったね」「不安だよ」など、共感する言葉を返し、子ども自身が自分の気持ちに気付くことを促します。
- 保護者の気持ちに余裕をもって：ゆったりとした気持ちで話を聞くことが大切です。もし相手があることでしたら、うちの子の言葉だけではなく、相手の子の気持ちや状況を想像してみることも大切です。

## 子どもたちの様子から①

今年度、私は5年C組を担当させていただきました。この1年間の印象深い学習として「6年生卒業お祝い給食をつくろう」という単元が心に残っています。これは、5年C組がこの1年、全校のために様々な企画・行事を催してくれた6年生への感謝の思いを込めた給食の献立をつくろうという単元です。

単元が始まると早速、数人の子どもたちがタブレットでアンケートを作り始めました。6年生の好きな給食のメニューを聞いて献立をつくりたいという思いだったようです。すでに、この時点で気持ちが6年生にしっかり向かっていること、行動力の早さに驚きました。その後、アンケートの結果をもとに、ご飯、パン、麺の3つのチームに分かれて、各グループで献立を作り始めました。ご飯チームのメインはカレーライスでした。しかし、ただのカレーライスではありません。カレーの中の人参がハート型や星型ではありませんか。発案者の子どもに思いを聞いてみると、「6年生の中には、カレーライスが苦手な人がいるかもしれない。人参が苦手な人もいるかもしれない。その人たちも楽しく食べてもらえるように、ハート型や星形などの人参を少し入れて、入っていた人は運がおとずれる人参おみくじにしてみたいから」と言いました。子どもならではの柔軟な発想、なんと言っても相手意識の高さに感動したことを今でも忘れません。

そして、その献立が2月下旬に出ました。学級の子どもたちは、献立をつくって終わりではなく、その献立を全校に知ってもらいたいと朝と昼の放送で呼び掛けたり、6年生にお品書きを書いて紹介したり、自分たちで6年生の分を盛り付けたりと喜んでもらいたい気持ちを行動で表していました。給食後、6年生からは「おいしかった！」だけでなく、「楽しかった！」という声も聞くことができました。この声を聞くことができたのは、人参おみくじの効果であることは間違いありません。この単元を通して、人の思いは言葉ではもちろんですが形としても伝えられることを子どもたちの姿から学びました。

## 子どもたちの様子から②



3月5日に行われた「ありがとう6年生集会」では、これまで全校のために企画を立て、実行・運営してくれた6年生に感謝の気持ちを伝える場面が数多くありました。特徴的なのは、在校生が心を込めて飾り付けをした手作りの帽子が卒業生にプレゼントされることです。感謝の思いを込めたこのプレゼントは、何年も続く本校の伝統的な取組です。贈る側にとっても贈られる側にとっても感動的な活動となりました。

6年生や教職員からもサプライズ発表があり、全校が一つとなった瞬間でした。6年生の皆さん、中学校でのご活躍を期待しています。

文責：生徒指導主事（石井）